

6年算数

対称な形

番組名 「さんすう刑事ゼロ」

放送回 第1回 時計のトリックを見破れ～線対称～

実践者 大阪府高槻市立北清水小学校 首席 浅香 一世

「算数」を使って難事件に立ち向かうミステリードラマ。ベテランと新人刑事が算数的な要素を使って試行錯誤を繰り返し解決していきます。この番組は活用力を育むことをねらいにしています。

番組の使い方

活用のねらい

全国学力テストで記述式の解答に課題が見られた。書くことを苦手としている児童が多く言語活動の充実を図る必要性を感じた。そこで、さんすう刑事ゼロを活用し、事件の報告書を作成することを通して、言語活動の充実を図ろうと考えた。

具体的な手立て

一時停止視聴（10分間）
～授業の導入時 番組HP電子黒板教材の活用～
番組HPにある電子黒板教材で線対称と点対称の復習をしたあとに、番組を視聴する。番組はベテラン刑事ゼロが何かに気付いたところで一時停止。どんなトリックを使ったかを考えさせ、残りを視聴。

授業の概要（1時間）

生き生きと学ぶ子どもの姿

本時の目標
トリックを見破って、事件の報告書を書こう。

点対称の性質を使って、デジタル時計の時刻をかえることができることを知りました。

線対称と点対称の復習（5分）
・番組HPにある電子黒板教材の活用

トリックを見破るのは簡単だったけど、報告書は難しかった。

めあてを確認する（2分）
・評価規準を伝える。

トリックは見破れなかったけど、デジタルの場合は20:20を逆さまにしたら、02:02になるということがわかった。

番組一時停止視聴（10分+5分）
・どんなトリックを使ったのかを考えさせる。

数字だけではなく、観覧車も点対称じゃないとトリックがばれてしまうことがわかった。

考えを発表する（5分）
・自分の考えを発表する。

授業を終えて

はじめに評価規準を伝えることは書き方を示すだけではなく、視聴のポイントを示すことが分かった。書くことを苦手としている児童に、ポイントを示すこと（算数的なトリックは何か、アリバイは何か）は的確に理解するために効果的だと感じた。

確認する（3分）
・登場人物と線対称と点対称のトリックを確認する。

また、どのようにかけばA基準になるかと児童が考えながら書いていたり、感想に、今まで書くことは難しかったけど、何を書けばよいか分かっておもしろかったと書かれたりしていた。最後の2つの感想では、算数的な気付きが書かれていた。今まで学習してきたことをより深く理解できたことが表われていた。

事件の報告書を書く（10分）
・どんな算数的なトリックを使ったのかいつ・どこで・だれが・何をしたのかを報告書にまとめ、交流する。

報告書を書くという活動や番組の活用に評価規準という目標を設定することは主体的に学習に取り組むという意欲の向上と言語活動の充実につながった。

授業の振り返り（5分）
・授業の振り返りをする。